

アルモード
alnode
698
取扱説明書

◎ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
業者様へー本書はお客様へお渡しください。
お客様へー本書は大切に保管してください。

付属部品:直付け用ビス(太ビス)(12ヶ)・本体パネル固定用ビス(細ビス)(24ヶ)・マグネット(ネオジム磁石)(8ヶ)
※直付け用ビスと本体パネル固定用ビスは、パネルのサイズによって余る場合があります。

壁面に取り付ける前に

- 重量物ですので、必ず2人以上で取付作業を行ってください。
- 接続パターンは裏面のボードパネル接続パターン一覧を参照ください。
- 浮き上がり防止金具セットがあるサイズの場合は、本体パネルに浮き上がり防止金具を取り付けます。
※浮き上がり防止金具の取付方法は、浮き上がり防止金具セットの取扱説明書を参照ください。
- 本体パネルを縦(上下)に接続する場合は、パネル連結金具で本体パネルを連結します。
※本体パネルの連結方法は、パネル連結金具セットの取扱説明書を参照ください。
※横(左右)連結の場合は、本体パネルの連結は不要です。

梱包内容

サイズ	フレーム	本体パネル	BE(ボードアイボリー・ベージュ)の場合	パネル連結金具セット	浮き上がり防止金具セット
3600×1800	L3606 2本	1200×900 6枚	I:3枚 BE:3枚	5セット	なし
3600×1200	L3606 2本	900×1200 4枚	I:2枚 BE:2枚	なし	4セット
3600×900	L3606 2本	1200×900 3枚	I:2枚 BE:1枚	なし	なし
2700×1800	L2706 2本	900×900 6枚	I:3枚 BE:3枚	3セット	なし
2700×1200	L2706 2本	900×1200 3枚	I:2枚 BE:1枚	なし	3セット
2700×900	L2706 2本	900×900 3枚	I:2枚 BE:1枚	なし	なし
2400×1200	L2406 2本	600×600 8枚	I:4枚 BE:4枚	4セット	なし
2400×900	L2406 2本	1200×900 2枚	I:1枚 BE:1枚	なし	なし
1800×1200	L1806 2本	900×1200 2枚	I:1枚 BE:1枚	なし	2セット
1800×900	L1806 2本	900×900 2枚	I:1枚 BE:1枚	なし	なし
1800×600	L1806 2本	600×600 3枚	I:2枚 BE:1枚	なし	なし

※付属部品の内容は各セットの取扱説明書を参照ください。

壁面への取付方法

※1800×1200の場合

1

2

3

4

5

付属の直付け用ビス以外のビスで上下辺フレームを取り付ける場合
M4皿頭ビスのものをご使用ください。
(皿頭以外のビスの場合、ビスの頭が本体パネルにあたり、本体パネルが持ち上がってしまいます。)

○ フレーム
× フレーム
○ 皿ビス
× ナベビス等

○ 本体パネルの端をフレーム切断面に合わせている状態
× 本体パネルの端を樹脂キャップの端に合わせている状態

本体パネルを全て上下辺フレームに左右位置を合わせてのせます。上下辺フレーム側面の穴に合わせて印等をつけて、本体パネル固定用ビスを取り付ける下穴(φ2.5)を電動ドリル等で本体パネルの上下辺に接する側面にあけます。
※本体パネルを縦(上下)に接続するサイズがある場合、パネル連結金具で本体パネルを接続してからのせます。
※下穴をあけずに本体パネル固定用ビスを取り付けると本体パネルの木枠が割れる可能性があります。

下辺フレームを直付け用ビスで壁面に取り付けます。
※本体パネルを壁面に取り付ける際に、上下左右に下記スペースが必要となります。
・上下…本体パネル固定用ビス(25mm)とドライバーが入るだけのスペース
・左右…本体パネルを左右それぞれに約120mm横スライドできるスペース
※フレームは歪み・湾曲しない様に水平に取り付けてください。
※本体パネルを接続した際に本体パネルが傾き、接続した本体パネルとの間に隙間ができる原因となります。

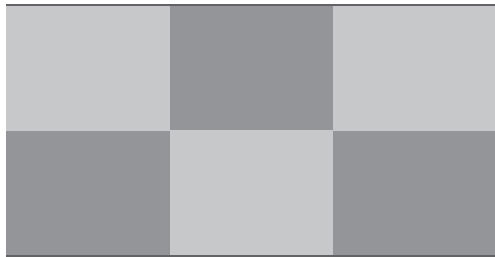
本体パネル1枚(縦接続がある場合は接続したパネル1枚)と上辺フレームを下辺フレームの左右どちらかの端に合わせてのせます。
※本体パネルと上下辺フレームの端に合わせる際は、フレームの樹脂キャップの端ではなく、フレーム切断面の端に合わせてください。

上辺フレームが動かない様に押さえながら、本体パネルのみ左右どちらかに上辺フレーム端の直付け用ビス穴が見える位置まで横スライドさせ、上辺フレーム端を直付け用ビスで壁面に取り付けます。同じように次の直付け用ビス穴が見える位置まで本体パネルを横スライドさせ、全ての上下辺フレームの穴にビス止めします。
※パネル連結金具セット、浮き上がり防止金具セットがあるサイズの場合、本体パネルを下辺フレームからおろして浮き上がり防止金具を壁面に取り付けます。
浮き上がり防止金具の取付方法は、各セットの取扱説明書を参照ください。

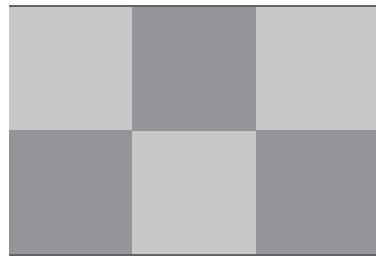
▽であけた本体パネルの下穴に合わせてプラスドライバーで本体パネルを上下辺フレームに本体パネル固定用ビスで取り付けます。残りのパネルも同じように取り付けます。

ボードパネル接続パターン一覧

■ I(ボードアイボリー) ■ BE(ボードベージュ)



#360×180 (1200×900 6連)



#270×180 (900×900 6連)



#360×120 (900×1200 4連)



#270×120 (900×1200 3連)



360×900 (1200×900 3連)



2700×900 (900×900 3連)



#240×120 (600×600 8連)



#180×120 (900×1200 2連)



2400×900 (1200×900 2連)



1800×900 (900×900 2連)



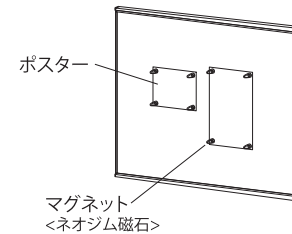
1800×600 (600×600 3連)

※IBE(ボードアイボリー・ベージュ)のパネル組み合わせパターンは上記の並びになります。
IBE(ボードアイボリー・ベージュ)以外のカラーは、全サイズ同一色の上記パターンになります。

セット方法

ポスターをマグネットで貼り付けます。

・マグネットで貼り付け専用です。
マグネット以外での貼り付けはできません。



マグネット	テープ	ピン
○	×	×



警告

ネオジム磁石は磁力が強力なため、下記に注意してください。
●ネオジム磁石を誤飲すると大変危険です。子供の手の届く場所に置かないでください。万が一誤飲した場合は、医師の診断を受け指示に従ってください。
●ペースメーカーなどの電子医療機器を着装した人、およびその他の電子医療機器へ磁石を近づけることは、機器の正常な動作を損う可能性もあり、大変危険です。ご注意ください。

お取り扱い上の注意

ご使用前に必ず本書(取扱説明書)をよくお読みいただき、記載された注意事項を守って、正しくお使いください。

※記載された注意事項の内容を守らずに使用した場合の事故や損害については、責任を負いかねます。

組立・設置に際して

1. お取り付けは、必ず専門知識のあるプロの業者の方に依頼し、取り付け業者様の責任において行ってください。
2. 本体及び部品の改造は行わないでください。
・強度低下、故障、事故の原因になります。また、本来の機能を損なう恐れがあります。
3. 屋内向き仕様ですので、環境条件にご注意ください。
・この商品は屋内向き仕様になっています。直射日光や雨風を避けてお取り付けください。
4. 設置場所にご配慮ください。
・人通りや周囲の状況に配慮し、ポスター等の入れ替え作業に支障のない場所に設置してください。
・人通りや周囲の状況に配慮し、安全な場所に設置してください。
・本体に人が当たると、けがをしたり、衣服を損傷したりすることがあります。
・冷暖房の空調設備付近(熱風・冷房の直接当たる場所)には設置しないでください。
5. 設置面の材質・状態をご確認ください。
・パネルや掲示物の重量に耐えられる壁面にお取り付けください。
6. 取り付け金具を正しくお選びください。
・壁面の材質により、付属の直付け用ビス等が合わない場合があります。市販の取り付け金具をご使用の際は、パネルや掲示物の重量に耐えられるものをお選びください。
7. 取り付けの際はフレームの上下・左右の辺を必ず固定してください。
・振動などによりフレームがズレたり、落下する恐れがあります。
8. 壁面への取り付けの際に、壁面の平面を出して取り付けてください。
・壁面に凹凸がある場合、商品本来の機能が失われるだけでなく、商品全体が変形する恐れがあります。

ご使用に際して

1. 角部、フレーム切り口、部品等は鋭利ですので、取り扱いにご注意ください。
・手などを傷つける恐れがあります。また、人に当たると、けがをしたり、衣服を損傷したりすることがあります。
2. パネルの下にものを置かないでください。
・予期せぬ事態でパネルが脱落することも予想されます。
3. 中身やパネルがしっかり固定されているかご確認ください。
・中身のセット後、開閉パネルやネジ等の可動部分がしっかり固定されていることを確認してお使いください。
・部品等の固定が不十分だと中身やパネルが落下するおそれがあります。
4. 故障、破損、部品の紛失等があった場合は、業者の方に依頼し、新しいものに交換してください。

お手入れに際して

1. 定期的に点検してください。
・パネルと裏面の金属部分(ビス等)のゆがみ、ガタつき、錆、腐食等の異常がないかを点検し、異常がある場合は交換してください。
2. 定期的に清掃してください。
・パネル周辺はほこりがたまりやすく、放置していると汚れますので定期的に清掃してください。
・柔らかい布を水でしめらせ、よくしぼってふいてください。金属磨き、サンドペーパー等は表面をいためます。
・殺虫剤をかけたり、シンナーやベンジン等揮発性のあるものでふいたりしないでください。変色、変質の原因となります。



●角部、フレーム切り口、部品等は鋭利ですので、手などを傷つけないよう、取り扱いにご注意ください。
●ネオジム磁石を携帯電話やスマートフォン・CD・パソコン・磁気カード・時計など、磁気の影響を受けやすいものに近づけないでください。